

ご使用の前に……

よく読んで予測される事故を回避して、正しく安全にご使用ください。

危険

この表示の記載内容を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。

- ① 洗浄や点検などで機械可動部に手などを入れる場合は、必ず電源を外した状態で行ってください。
- ② 通電中は端子部などに触れないでください。感電の恐れがあります。特に濡れた衣服や手で触ると危険です。
- ③ 機械の動作中はドラム内部への、身体や衣服などの巻き込みに注意してください。
- ④ 原子力発電・航空・鉄道・船舶・車両・医療機器などの人命や財産に多大な影響が予想される用途、及び食品・飲料などの用途には使用しないでください。
- ⑤ 防爆仕様ではないため、可燃性ガスなどの雰囲気では使用しないでください。
- ⑥ 分解・改造は誤動作・破損の原因となりますので行わないでください。
- ⑦ 本仕様書をよく読みご理解の上、ご使用ください。

警告

この表示の記載内容を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険性が想定される内容を示しています。

- ① モーターやブレーカなどの部位に直接水がかからないようにしてください。

注意

この表示の記載内容を無視して誤った取扱をすると、物的損害(製品の故障など)が想定される内容を示しています。

- ① アースは必ず接地してください。
- ② チューブやホース内に圧力が残っている状態で、チューブやホースを取り外さないでください。チューブやホース内の残存物が急激に噴き出して非常に危険です。
- ③ チューブ・ホースなどは、ひび割れや変形などの異常がないことを点検してから使用してください。
- ④ 本機には緊急運転モード(EDM)が搭載されています。EDMとはインバータユニットが過負荷などの原因で動作不能となった時、一時的にポンプを動作させるもので、一次側電源電圧を直接モーターに印加する動作モードです。そのため正転/逆転は主電源の三相配線により異なり、電源周波数に応じた定速運転となります。過負荷状態での長時間運転はモーター焼損などの機械的故障の原因となります。

仕 様

■ニューロータリーポンプ OKP-200ME 仕様表

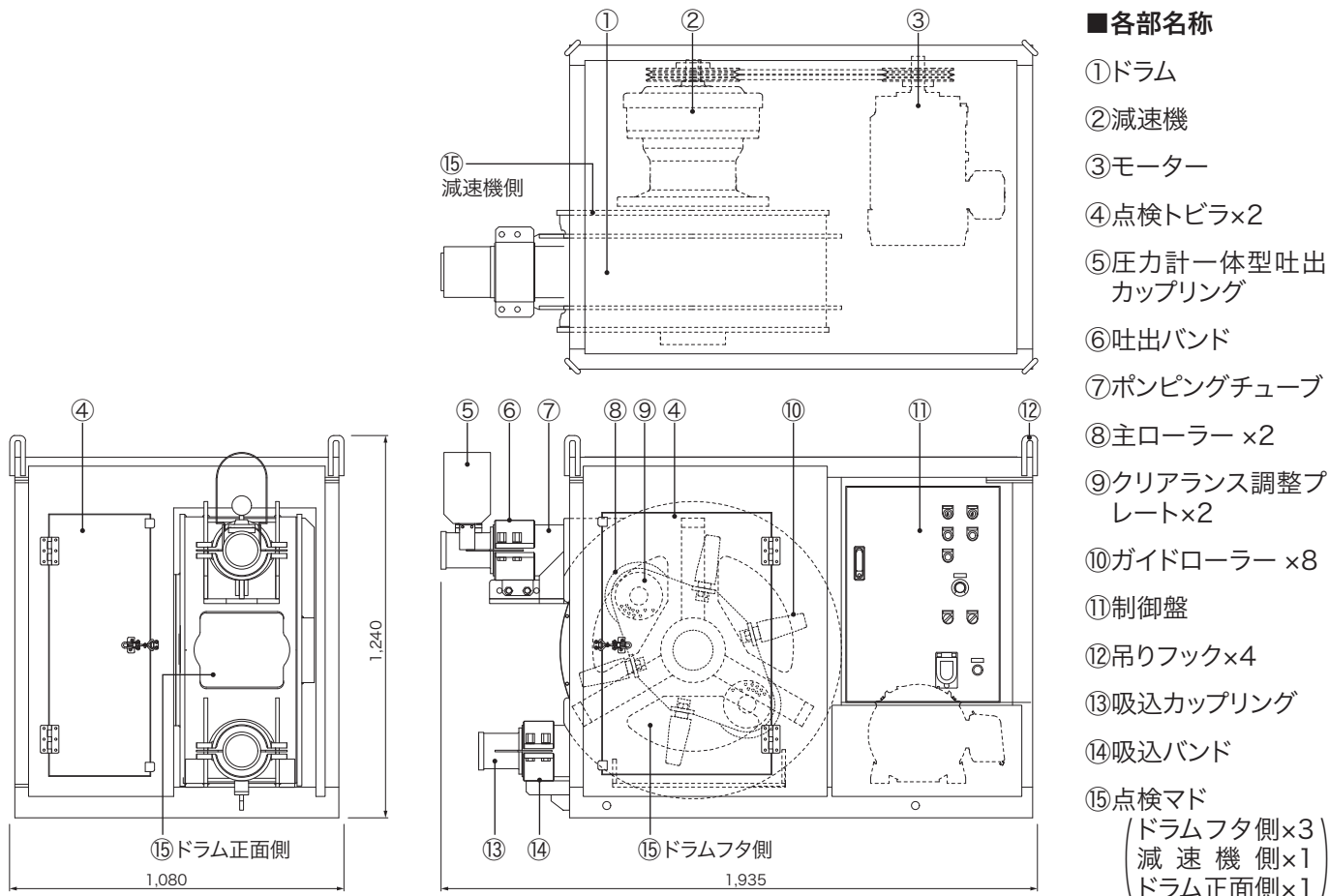
型番	OKP-200ME	変速方式	インバータ変速
吐出量	最小60~最大340L/分	電源電圧	三相AC200V
吐出圧	最大1.2MPa	定 格	インバータ出力定格 66A
ポンピングチューブ	OKASAN 200 (φ100×2,250mm)	寸 法	幅1,080×奥行1,935×高さ1,240mm
ローラー数	2	重 量	1,280kg
動 力	15kW-4P	対 応 骨 材	25mm以下

商品改善のために、予告なく仕様を変更する場合があります。

■付属品 ・3点式リモコン RC-F-50M ・工具セットK KG-K ・予備チューブ

■オプション ・無線リモコンOKR-F ・圧力スイッチ ・ポリウム付3点式リモコン RC-V-50M
 ・5速メモリ機能付ワイヤレスリモコン OKR-SX30-0949

各部名称(本体)



クリアランス調整プレートの調整方法

チューブの内面磨耗などによりクリアランスの調整が必要な際に、クリアランス調整プレートでクリアランス幅を調整します。

●調整方法

1 ポンピングチューブを外し、ポンプを動かして減速機側点検マドの位置に主ローラーを合わせます。

※手などを巻き込まないように注意してください。

※吐出量調整ボリュームを左に回し、回転速度を最低にして位置合わせを行ってください。

2 減速機側点検マドとドラム正面側点検マドを外してください。クリアランス調整プレートが見えていない場合は、再度位置を調整してください。

3 クリアランス調整プレートの反対側の締付ナットを緩めます。

4 クリアランス位置決めボルトを外し、新たな位置決め穴で固定します。

5 締付ナットを締めます。

6 もう片方のクリアランス調整プレートも同様に調整します。

数字が増加する量だけクリアランス量が減少します。

例) ポンピングチューブの磨耗が進み、逆流量が増え、吐出量が減少してきた時は……

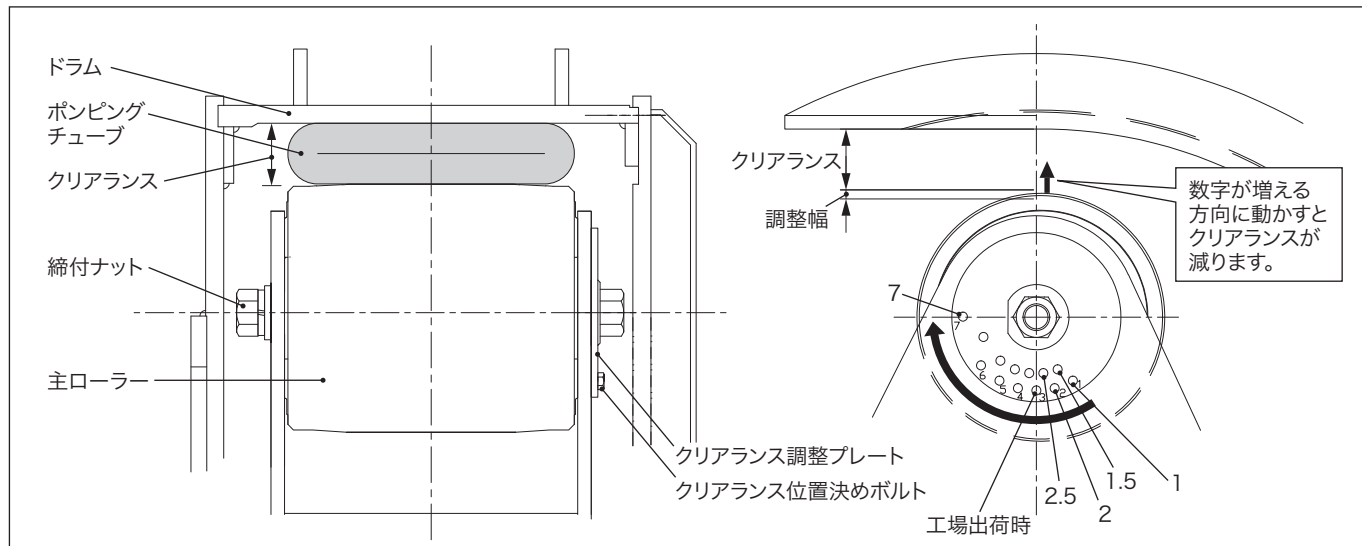
位置決め穴を2から2.5に変更→クリアランス量が0.5mm減少

●プレート外側の穴は1mmずつ、内側の穴は0.5mmずつ変化します。

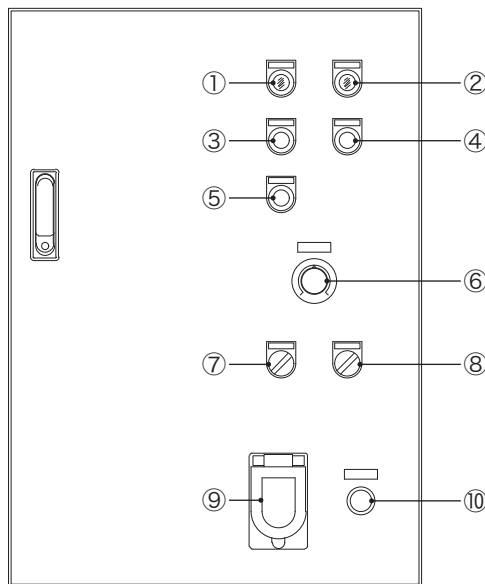
●極端にクリアランス量を減少させると、モーターの負荷が大きくなり、インバータがエラーを出しやすくなります。0.5mmずつ調整してください。

●工場出荷時は「3」です。

●チューブ交換時は「3」に戻して交換作業を行ってください。



各部名称(制御盤)



■各部名称

①電源入ランプ

①7主電源ブレーカと①8操作電源サーキットプロテクタが共にONで、電源電圧が印可されると点灯し、ポンプの動作が可能です。

②インバータ異常ランプ

①9インバータユニットのエラー発生時に点灯します。エラーをリセットするには、①5停止・リセットスイッチで行います。

③正転スイッチ

④逆転スイッチ

⑤停止・リセットスイッチ

⑥吐出量調整ボリューム

⑦圧カスイッチ有効/無効切替スイッチ

⑧本体/リモコン切替スイッチ

リモコン使用時はリモコン側にします。リモコン側に入れた場合、①10リモコン用コンセントにリモコンを接続しないと①3①4①5の各スイッチは無効になります。リモコンを接続すれば、①3①4①5の各スイッチとリモコンスイッチの両方が有効になります。

⑨圧カスイッチ用コンセント

⑩リモコン用コンセント

⑪アワメーター

リセット機能はありません。背面のレバースイッチで50Hzと60Hzを切り換えます。

⑫通常運転/緊急運転切替スイッチ

⑬緊急運転用正転/逆転セレクトスイッチ

①12を緊急側に入れると、インバータユニットがジャンプされ無効になります。①13を正転もしくは逆転にすると、モーターに1次側電源電圧が直接印可され、ポンプが動作します。

⑭緊急運転正転用電磁開閉器

⑮緊急運転逆転用電磁開閉器

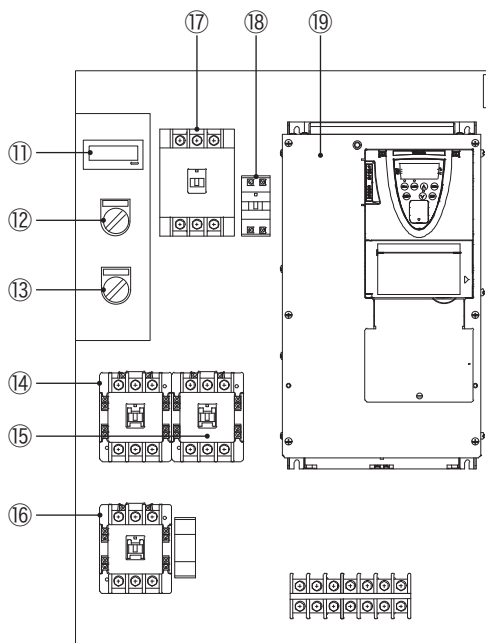
⑯通常運転用電磁開閉器

⑰主電源ブレーカ

⑱操作電源サーキットプロテクタ

⑲インバータユニット

詳細は別冊インバータユニット取扱説明書をご参照ください。



ご注意

●三相200V配線について

本機は(R・赤)(S・白)(T・黒)(アース・緑)で色別しています。UVW表記の場合は(U・赤)(V・白)(W・黒)(アース・緑)となります。

●正相/逆相運転について

インバータユニットを介した通常運転では、正相/逆相は問題になりません。ただし緊急運転の場合、逆相接続では正転、逆転がそれぞれ反対の動作になります。その場合は1次側配線の(R・赤)と(T・黒)を入れ換えてください。



『練って』『送る』機械を創る

岡三機工株式会社

<http://www.okasankikou.co.jp>

本社 〒554-0012 大阪府大阪市此花区西九条2丁目8-14 ☎06(6464)0575(代)
 川崎営業所 〒210-0803 神奈川県川崎市川崎区川中島2丁目6-3 ☎044(266)2771(代)
 名古屋営業所 〒476-0006 愛知県東海市浅山3丁目121 ☎052(604)0780(代)
 大阪営業所 〒554-0012 大阪府大阪市此花区西九条2丁目8-14 ☎06(6464)0570(代)
 福岡営業所 〒811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東4-7-8 ☎092(938)7222(代)
 大阪工場 〒572-0824 大阪府寝屋川市萱島東3丁目30-15 ☎072(822)5276(代)